

【8月24日（月）放送朝礼の話】

全校の皆さん、おはようございます。

約2週間の短い夏休みが終わりました。新型コロナウイルスの感染拡大防止で、いつもの夏休みのように自由に過ごすことはなかなか難しかったと思いますが、楽しく過ごせたでしょうか。思いでもいくつかできましたか。登校指導で日に焼けた元気そうな皆さんの顔を見ることができて、とてもうれしく思いました。

校長先生は、家のそうじや片付けをしたり、仲の良い友達とわが家に集まり、テイクアウトのお弁当でランチをしたり、県内に住んでいる娘の家に行って孫と遊んだり、コロナ禍ではありますが、感染対策をしながら忙しくも充実した夏休みを過ごしました。みなさんも、楽しかった夏休みの出来事を、担任の先生や友達にも報告してくださいね。

話は変わりますが、草平小学校の教室どの教室にも、後ろの壁の左上の方に男の人の絵が貼られています。この人は誰でしょうか。2年生以上の人たちは分かる人も多いと思いますが、この人は、アンリー・デュナンとって、「赤十字社」を設立した人です。

草平小学校が「青少年赤十字社」＝「JRC」に全校で加盟している印です。JRCのJは「子ども」を表わす Junior のJ、Rは「赤」の Red のR、Cは「十字」の Cross のCです。

日本では、明治20年に、日本赤十字社という団体が正式に設立され、病院の運営や日本の国だけでなく、海外でも災害救護活動やチャリティ活動などを行っています。

この青少年赤十字（JRC）では、三つの態度目標「気づき」「考え」「実行する」を掲げています。

草平小学校では、JRC生活委員会が、日頃から「気づき」「考え」「実行する」ことを大切にしながら、JRCの一員として活動しています。

この春入学した1年生も、新しくJRCの会員となりました。各クラスで、その一員としての印のバッヂを担任の先生から渡していただきます。名札に付けてください。また、各クラスで今年度の署名をしてもらいますので、それをお願いします。

JRCの会員として、困っている人がいたら声をかけてみる、けんかをしている人がいたら仲裁をするなど、小さなことでも自分たちの身の回りで起きたことに「気づき」、そして「自分に何ができるか」を考え、そのできると思ったことを行動に移すことができる、そんな草平っ子でいてほしいと思います。

猛暑のピークは過ぎたとはいえ、まだまだ残暑の厳しい毎日が続きます。熱中症に気を付けながら、同時にコロナ対策もしっかりとしながら、元気に学校生活を送れるようにしましょう。

これで校長先生のお話を終わります。